




教室でできる！


座ってできる！



すぐにできる あそびいろいろ

札幌市立白楊幼稚園
令和5年3月

<p>① おーちたおちた</p> <p>1、教師(子どもでも OK)は「おーちたおちた」と言い、みんなは「なーにがおちた？」と言う。</p> <p>2、教師が落ちたものの名称を言い、それに合わせて子どもたちはジェスチャーをする。</p> <p>「りんご」と言ったら→手ですくう真似 「げんこつ」と言ったら→頭を手で隠す 「かみなり」と言ったら→おへそを手で隠す</p> <p>※着席したままでも、立ってでも OK ※ゆっくりにしたり早くしたりすると盛り上がります。 ※ジェスチャーを考えても楽しいです。</p>	<p>② 3 ヒントクイズ</p> <p>1、教師や子どもたちが問題を出す。 答えを導き出すためのヒントを3つ出す 「きいろ」「ほそながい」「くだもの」なあに？</p> <p>2、3 つ聞いてから答える 「バナナ」</p> 
<p>③ こんなこと、あんなことができますか？</p> <p>1、リーダーが「〇組さん！」と呼びかける。 みんな「なんですか？」</p> <p>2、リーダー「こんなこと、あんなことができますか？」と歌に合わせて、ポーズをする。 みんな「こんなこと、あんなことができますよ。」と言いながら、ポーズをまねっこする。</p> <p>※ポーズは動きがあるとおもしろい。 ※着席したままでも、立ってでも OK ※ユニークなことを始めて、場が和みます！</p>	<p>④ はてなボックス</p> <p>1、穴の開いた大きめの箱を用意する。あらかじめそこにいろいろなものを入れておく。(絵カードでもいい)</p> <p>2、教師「次は食べられるものでしょうか、食べられないものでしょうか？」</p> <p>子どもたちに選ばせて、箱の中から一つ出し、「はい!食べられま〜す!(食べられません〜)」と正解を言う。</p> <p>※問題の内容は「学校にあるものかどうか、ないものかどうか」とか「動物かどうか、動物じゃないかどうか」とか、いろいろバリエーションを作れます♡</p> 

<p>⑤ やおやのお店</p> <p>♪「やおやのお店にならんだ品物をみてごらん よく見てごらん、考えてごらん」</p> <p>教師「にんじん」</p> <p>子:やおやにある物なら、2 回拍手「あるある」</p> <p>教師「だいこん」</p> <p>子 2 回拍手「あるある」</p> <p>教師「キャベツ」</p> <p>子「あるある」</p> <p>教師「アイス」</p> <p>子:やおやにない物が出たら⇒手で×「ブー」</p> <p>※パン屋、果物屋などほかのお店でもできます。 ※言葉だけでなく「にんじん」「キャベツ」などの絵カードがあると、分かりやすい子もいます。</p>	<p>⑥ マジカルバナナ</p> <p>1、♪マジカルバナナ バナナと言ったら～</p> <p>2、次の人 バナナからイメージすること、物を言う 「きいろ」</p> <p>3、「きいろと言ったら」「レモン」</p> <p>4、「レモン」と言ったら「すっぱい」</p> <p>5、すっぱいと言ったら「梅干し」…と続ける</p>
<p>⑦ 伝言ゲーム</p> <p>1、前列の子に、こっそり伝言ワードを伝える(「りんご」「えんぴつ」など簡単な言葉)。</p> <p>2、「よーいスタート」で、それぞれ後ろの子に聞いた言葉をこっそり伝えていく。</p> <p>3、どの列も後ろまで伝わったら、各列の一番後ろの子が聞いた言葉を発表する。</p> <p>※どの子もできそうなら、二語文などレベルアップ!</p> 	<p>⑧ かみなりどんがやってきた</p> <p>1、♪かみなりどんがやってきた どんどこどん どんどこどん かくさないと とられるぞ どんどこどんどんどん</p> <p>2、かくすのは あたま! →子:かくす →教師「セーフ」子「イエス」とガッツポーズ</p> <p>3、かくすのは あたま! おへそ! →子:かくす(一度に両方) →教師「セーフ」子「イエス」とガッツポーズ</p> <p>4、かくすのは あたま! おへそ! おしり! →子:かくす(一度に全部) →教師「セーフ」子「イエス」とガッツポーズ</p> <p>*あたま! おへそ! はな! おしり! など増やしていく。</p>

<p>⑨ 言葉集め</p> <p>「あ」から始まる言葉をいっぱい集めよう！ 「あめ」「アイス」「あざらし」…</p> <p>※同じ言葉を何度言ってもよいことにして、一人ずつ順番に言う、手を挙げて言うなど。</p>	<p>⑩ グー チョキ パー</p> <p>1、手遊び 歌に合わせて、グーチョキパーを出す ♪グーグー チョキチョキ パーパーパー グーグー チョキチョキ パーパーパー グーグー チョキチョキ パーパーパー グーチョキ パーチョキ できました(手で拍手 3回)</p> <p>2、レベルアップ！ グーを言わない(手はグーを出す)</p> <p>3、もっとレベルアップ！ グーとチョキを言わない</p> 
<p>⑪ ぼうが 1 ぽん</p> <p>♪ぼうが 1 本(右手 1 本指を出す) ぼうが 1 本(左手 1 本指を出す) ぼうが 2 本で ぴよんぴよんぴよん (両方の 1 本指をぴよんぴよん曲げる) 上を向いて(指を上に向け、上を見る) 下を向いて(指を下に向け、下を見る) ○○はどこだ？ みんな:見つけたものを「あった！」と指をさす</p> <p>※○○は、教室にある時計、ノートなど。「ここにも、あそこにもあるね」と複数あるものも、おもしろい。</p>	<p>⑫ あたま かた ひざ ポン</p> <p>歌に合わせて、その部位に手を当てる ♪あたま かた ひざ ポン(1 回手を打つ) ひざ ポン ひざ ポン あたま かた ひざ ポン その手を ○○！</p> <p>※○○は、おなか、おしり、ほっぺなど。耳とおへそなど複数でも。「隣のお友達こちょこちょ～」も楽しい！</p>

<p>⑬ あと出しじゃんけん</p> <p>1、「じゃんけんポンで先生が初めて出すよ」「先生が出したのを見て、先生に勝つように、グーかチョキかパーを出してね」</p> <p>♪あとだし じゃんけん じゃんけんポン(教師が出す)ポン(子どもが出す)</p> <p>※「同じを出してね(あいこ)」で練習してから、『先生に勝つ』バージョンをやるのもよい。</p> 	<p>⑭ 皿渡し(わらべ唄)</p> <p>1、鬼は目をつぶる</p> <p>2、皆は歌ながら、1枚の皿(お手玉などでも)を、隣の人に渡していく</p> <p>♪さらわたさらわたし しずかにわたそう こがねのように おにの いないうちに いいよ</p> <p>3、「いいよ」の時に持っていた人は、皿を後ろ手に隠す。ほかの皆も後ろ手に隠すポーズをする。鬼は、誰が皿を持っているか当てる。</p> <p>※言い伝えていろいろな歌詞があります。 ※鈴を使うと、音がヒントになります。 ※皆で輪になって、鬼が真ん中に座って遊ぶことが多いです。</p>
<p>⑮ おてぶし てぶし(わらべ唄)</p> <p>1、両手を合わせた中に、何か小さなものを入れる。</p> <p>2、合せた手を左右に振りながら、歌う。</p> <p>♪おてぶしてぶし てぶしのなかに へびのなまやけ かえるのさしみ いっちょうばこやるから まるめておくれ い～いや!</p> <p>3、小さなものをどちらかの手に入れて、両手をそれぞれ握る。</p>  <p>4、どちらの手に入っているか当てる。</p> <p>※言い伝えていろいろな歌詞があります。</p>	<p>⑯ えびすさん(わらべ唄)</p> <p>⑮と同じ遊び方で、こんな歌もあります</p> <p>♪どっち こっち えびすさん えびすさんに きいたら わかる!</p> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>*手遊びやわらべ唄などは、YouTubeで調べると出てきます。</p> </div>